

平成31年度 事業計画

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

横浜港振興協会は、港の理解をより一層深めていただくこと、港をより身近な存在としていただくことを目指して各種事業を展開し、会員企業各社とともに「ミナト町ヨコハマ」が引き続き振興・発展を遂げるよう、事業を推進してまいります。当協会は、港湾・海事関係者が中心となり活動してまいりましたが、近年は町内会、商店街などの陸側の地域団体とも連携し、事業を拡大しております。特に、客船事業は年々拡大しており、当協会の中心的な事業に成長いたしました。

平成31年度も、客船の寄港促進を図るため、横浜市、横浜川崎国際港湾(株)と一体となり誘致活動を推進するとともに、客船等の配船調整業務や、岸壁の運營業務を行ってまいります。また、大さん橋国際客船ターミナルにつきましては、安全・安心な施設づくりを継続するとともに積極的にイベントを開催し、指定管理業務を実施してまいります。さらに、増加するクルーズ客を街全体で受入れるため地域連携事業の強化を図ってまいります。

平成31年度の事業展開は、以下のとおりですが、事業執行に際しては、関係団体及び関係機関等との連携・調整を図り、より効率的、効果的な事業推進に努めてまいります。

1 会議等の開催

(1) 理事会・総会の開催

第192回理事会及び第68回通常総会を、令和元年5月に開催し、令和2年3月下旬には、次年度の事業計画及び予算審議を行う理事会を開催します。

(2) 会員交流会の開催

会員相互の交流を深める場として、「会員交流会」を開催します。

(3) 会員研修会等の開催

会員を対象にした事業として、新入社員等を対象に横浜港の研修会等を実施します。

2 港湾関係道路網の整備促進活動の推進

港湾物流効率化に不可欠な横浜環状道路の早期整備等の道路整備促進要望を、横浜市幹線道路網建設促進協議会の構成団体として引き続き行います。

3 船舶・貨物誘致活動の推進

(1) 横浜市からの委託を受け、クルーズ客船の寄港促進を図るため、横浜市、横浜川崎国際港湾(株)と「横浜港客船誘致戦略会議」を組織し、誘致活動を実施します。具体的には、客船誘致計画の策定、船社訪問、戦略会議事務局事務などを行います。

(2) 国内外の客船等へ歓迎と見送り行事を実施します。

(3) 初入港の貨物船等へ横浜港シンボルマーク入り楯等を贈呈します。

4 地域連携事業の強化

クルーズ船の寄港増や国際的なイベント開催による観光客の増加に対応し、横浜の街を魅力的なものにするため、昨年設置しました地域連携担当部署が中心となり、観光客受入れ体制の構築、まちを楽しむ交通アクセスの整備、陸援隊・海援隊及び近隣地域団体との連携などの事業を推進してまいります。

5 市民と港を結ぶ事業の推進

市民にとって港が、より身近で愛着の場となるよう、横浜市などと連携し、観光船による港内見学やコンテナターミナルなどの港湾施設をバスで見学します。

また、横浜港の役割・機能等について、市民の理解を深めるため、「講演会」「出前講座」「区民まつり等でのPR」を実施します。

実施にあたっては、市民代表である当協会の「総代」と連携を深めながら進めてまいります。

(1) 横浜港見学会

横浜市港湾局、横浜港埠頭㈱、横浜川崎国際港湾㈱、観光船運航事業者及びバス事業者と連携し、観光船での港内見学と、大黒ふ頭、本牧ふ頭等の港湾施設の見学を、ターミナル運営事業者や施設管理者の協力を得て実施します。

<観光船による港内見学>

マリンシャトルやチャーター船に乗船し、海上から横浜港を見学します。

<マイクロバスによる港湾施設見学>

ふ頭内をバスで見学します。

(2) 講演会

港に関わる話題を中心に、興味を引き出すテーマで講座を実施します。

(3) 出前講座

学校や地域に出かけて、横浜港の理解を深めるための講座を実施します。

(4) 区民まつりや各種イベントでのPR

18区で行われている区民まつりに参加し、パネル展示や広報物の配布等を行います。

また、市内各地域で開催されるイベントなどでも広報・周知活動を実施します。

(5) 横浜港客船フォトコンテスト2019

より多くの人々に客船や港に親しんでもらうため、横浜港客船フォトコンテストを実施します。

(6) 実行委員会の事務局として実施する事業

ア 第36回横浜港カッターレースの開催

初夏の風物詩として定着している横浜港カッターレースを5月26日(日)に山下公園前面海域で開催します。

イ 優良海事関係者表彰式

横浜港において永年にわたり精励勤務された海事関係者の方々の功績をたたえ、感謝の意を込めて横浜市長より表彰します。7月22日(月)に開催します。

ウ 港内見学会

夏休みに、親子を対象とした横浜港内施設等の見学会を7月に開催します。

エ 横浜港国際船員スポーツ大会

船員の福利厚生向上及び船員相互の国際親善を図るため、ソフトボール大会等スポーツ大会を7月に開催します。本事業は半世紀に及ぶ伝統の行事となっております。

6 横浜スパークリングトワイライト2019

港や海に対する認識を深め、併せて横浜港の観光の振興を図り、地域経済の活性化に資することを目的とした「横浜スパークリングトワイライト2019」を実行委員会の主催団体の一員として7月13日(土)、14日(日)に実施します。

7 横浜港の広報宣伝活動の推進

- (1) 各種刊行物の発行
広報誌「よこはま港」、「横浜港便覧」、「PORT OF YOKOHAMA」等を発行します。
- (2) ポートガイドの推進
港を熟知したポートガイドの活用による広報活動を推進します。

8 横浜港振興協会友の会（波止場クラブ）の運営

広く市民の方々に横浜港を知ってもらうため創設した友の会会員を、引き続き募集するとともに、友の会会員を対象にした横浜港見学等を実施し、活動の充実を図ります。

9 記念品等の製作・販売

横浜港シンボルマーク入り記念品、刊行物及び横浜港カレンダーの作成、販売を行います。平成31年度は開港160周年記念グッズの販売も行います。

10 協賛・後援事業等

ザよこはまパレード（国際仮装行列）、横浜港ポート天国等、横浜港の振興・発展に寄与する行事等について、協賛・後援します。

11 横浜港の施設の管理運営等

(1) 大さん橋国際客船ターミナル

前年度に引き続き、横浜港振興協会、株式会社神奈川新聞社、株式会社ハリマビシステムで組織した「共同事業体」による指定管理者として、大さん橋国際客船ターミナルを管理運営します。「賑わいの創出」「利用者サービスの向上」「安心・安全な施設運営」を引き続き実行します。

ア 賑わいの創出

- ① 客船見送りキャンペーンの実施
- ② 大さん橋マルシェの開催
- ③ スパークリングトワイライト花火鑑賞席の設置
- ④ 地域連携イベントへの協力強化

イ 利用者サービスの向上

- ① 客船受入のオペレーションと歓送迎行事の実施
- ② メディアサポートグループによる効果的な広報活動
- ③ 全ての利用者に配慮したサービスの推進

ウ 安心・安全な施設運営

- ① 防災訓練の実施と普通救命講習の実施
- ② 館内巡回点検の強化
- ③ 不審者・不審物への対応訓練の実施

※ また、来年夏に行われる次期指定管理者の選定に向けて、課題の抽出と対応策、新規企画の創出、持続可能な収支計画等を検討する「大さん橋事業反省会議」を共同事業体内に設置します。

(2) 大さん橋岸壁の安全管理業務

SOLAS 条約（海上人命安全条約）に基づき、埠頭保安管理者（横浜市港湾局）が定める規定に準じて、24時間365日、岸壁に出入りする車両と人の管理を実施します。

(3) 大黒ふ頭等の客船受入業務

本年4月にオープンした大黒ふ頭客船ターミナルや山下ふ頭で客船受入関連業務を実施します。

(4) 配船業務及び客船等岸壁受入業務（受託事業）

前年度に引き続き、横浜市からの委託を受け、客船等の配船調整業務や大さん橋ふ頭など客船等が着岸する岸壁の運営業務を実施します。

(5) 新港ふ頭客船ターミナル

ア 新港ふ頭客船ターミナル・C I Q施設の管理運営

本年秋にオープンする予定の新港ふ頭客船ターミナル内C I Q施設を管理運営し、客船の寄港に対応する業務を実施します。

イ 駐車場の運営

新港ふ頭客船ターミナルのオープンに伴い、周辺3ヶ所（ハンマーヘッドパーク、6-2街区、7街区）の駐車場運営を行います。

(6) 横浜八景島

ア 八景島駐車場の運営事業（自主事業）

イ 八景島マリーナの運営事業（受託事業）

ウ 市民等を対象としたヨットスクール等の事業（自主事業）

エ 八景島指定管理業務の一部業務を実施（受託事業）